



令和3年3月28日

参加チーム各位

MSB 三重県社会人バスケットボール連盟

TO 委員会

2021 年度社会人連盟主催試合における TO について

平素は当連盟の活動にご協力いただき有難うございます。

2021 年度社会人連盟主催の大会・リーグ交流戦における TO の役割等について、下記の通り周知させていただきます。参加チームにおかれては内容をご確認いただき、それぞれの運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 人数

- ・最低 5 人とする [テーブルオフィシャルズ：4 人、得点板・モッパ－：1 人（極力 2 人）]

2. TO の役割

(1) テーブルオフィシャルズ

- ・**テーブルオフィシャルズを担当する方は、ゲーム開始 10 分前に着席してください。**
- ・**スコアラーは審判と協力し、7 分前にスタートチェック及びコーチライセンスの確認を完了してください。※JSBルール**
- ・それぞれの役割の詳細は、競技規則をご確認ください（MSB のホームページから確認できます）。

①テーブルオフィシャルズは次の業務を分担して行う。

| 名称 | 主な業務 |
|----------------|---|
| スコアラー | スコアシートの記録、審判への合図（タイムアウト、交代） ポゼッションアローの表示 |
| アシスタントスコアラー | スコアラーとの協力（得点やファウルの確認）、 得点やファウルの表示 |
| タイマー | ゲームクロックの操作、タイムアウトの計測 |
| ショットクロックオペレーター | ショットクロックの操作 |



②メンバー間の協力

テーブルオフィシャルズの仕事は4人が協力して行う。中でもスコアラー系（スコアラーとアシスタントスコアラー）同士と、タイマー系（タイマーとショットクロックオペレーター）同士の協力は重要である。

◎得点・ファウルの確認（スコアラー系）

『どのプレーヤーの得点・ファウルか』の事実確認と、記録（スコアラー）と表示（アシスタントスコアラー）を常に一致させることを目的に、以下のことを声に出して互いに伝え合う。

- ・得点：得点したプレーヤーの番号、両チームの合計得点
- ・ファウル：ファウルしたプレーヤーの番号、プレーヤーとチームのファウルの個数

◎視野の分担（スコアラー系）

スコアラーとアシスタントスコアラーは、二人の目で得点やファウルを確認することが基本だが、スコアシートの記入や表示機器の操作のためにプレーを追えないことがある。二人がともにプレーから目を離す時間を作らないよう互いに配慮する。

◎「スタート」「ストップ」の声出し（タイマー系）

タイマーとショットクロックオペレーターが、それぞれ「スタート」「ストップ」の声を出しながら表示機器を操作し、その声が一致することを目指す。

◎カウントダウン（タイマー系）

タイマーとショットクロックオペレーターは、それぞれのクロックの0秒近くで、プレーを目で追いながら表示機器を操作することが重要である。互いに0秒近くでクロックを目で追わなくても残り秒数が意識できるよう、二人が一緒にカウントダウンを行う。

◎「当たった」「当たっていない」の声出し（タイマー系）

ショットクロックの正確な操作のために、ボールがリングに当たったかどうかを二人が声に出して確認する。

◎ベンチの状況の伝達（アシスタントスコアラー、ショットクロックオペレーター）

スコアラーズテーブルのチームベンチ寄りに座るアシスタントスコアラーとショットクロックオペレーターは、ベンチの状況を見て、交代やタイムアウトの兆候があれば、速やかにスコアラーに注意を促す。

③審判との協力とコミュニケーション

テーブルオフィシャルズと審判の協力は不可欠である。コミュニケーションの手段としてはアイコンタクトやコミュニケーションのシグナルが中心となる。必要に応じて声掛けも行う。



◎得点のシグナルに対するレスポンス（スコアラー）

審判の得点のシグナルはスコアラーステーブルに向けて行われるので、スコアラーは確認したらコミュニケーションのシグナルを審判に返す。



◎ファウルレポートに対するレスポンス（スコアラー）

スコアラーは、審判のファウルレポート [プレイヤーの番号、ファウルの種類、次の処置 (フリースロー or スローイン)] に対して、自らも声に出して復唱し、確認したらコミュニケーションのシグナルを審判に返す。

◎タイムアウトまたは交代の合図（スコアラー）

ファウルによりゲームが止まったとき、スコアラーは審判のファウルのレポートが終了した後、タイムアウトまたは交代の合図をする。

◎手を上げること（タイマー）

タイマーが手を上げることは、テーブルオフィシャルズがゲーム再開の準備ができている合図になる。審判の笛でゲームを止めたあと、ファウルの処理などで間ができるときは一旦手を下ろし、他のメンバーがゲーム再開の準備が整っていることを確認してから再び手を上げる。

ゲームクロックを止めても審判が気づかない場合（フィールドゴールの後のタイムアウトなど）は、手を上げ続けておく。

(2) 得点板・モップ

- ・ゲーム中は常にコート内を注視し、得点が入ったら速やかに表示するとともに、スコアラーステーブルが表示する得点と一致しているか確認する。
- ・スコアラーステーブルの得点と一致しない場合は、ゲームが止まった時（タイムアウトなど）にテーブルオフィシャルズと確認し、誤っている方を正しいスコアに訂正する。
- ・転倒等によりプレイヤーや審判の要請があれば速やかにモップを掛ける。また、必要に応じてハーフタイム及びクォーター間にもモップを掛ける。
- ・必ずシューズを着用すること（裸足や靴下のままコート内に入らない）。

3. その他

2021 年度も引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策として以下の事項にご協力をお願いします。

- ・スコアシート等の記録用筆記用具、定規等は各チームで用意してください。
- ・モップは原則、1 ゲームを通して同じ人が行い、モップも同じものを使用してください。
(選手や審判等、複数の人がモップに触れることによる感染リスクを抑えるため)
- ・ゲーム終了後はテーブル、椅子及び器具を消毒してください。また、モップも同様に椅子及びモップの持ち手部分を消毒してください。

以上